

公園・自然で憩う。



いずみ緑道 MAP C-2

城之内公園から町民体育館までの全長約2.8kmのいずみ緑道には、ケヤキ、サクラ、ツバキなど約100種類3万本の樹木と、豊かな水の流れが取り入れられています。各所に彫刻が設置され、芸術と触れ合いながら散策を楽しむことができ、平成6年には、「新・日本街路樹百景」に選ばれました。さらにいずみ総合公園を抜けて城之内公園から利根川の川辺までの約4kmはグリーンネットワークで繋がられています。

分水堀緑道 MAP A-3

休泊川の赤地蔵堰を起点に主要地方道足利・千代田線につながる全長800mの水と緑の遊歩道です。堀の両岸150mにわたり約2,000本のハナショウブが植えられ、初夏の頃には紫色や白色の花が美しく咲き誇ります。



御正作公園 MAP C-4

広々とした緑の芝生が広がる公園。2haの園内には多目的広場、ひょうたん池などがあります。公園に隣接して、地上45mのシンボルタワーのある「いずみの杜」があります。

城之内公園 MAP B-3

室町時代に富岡主税介直光によって築城された小泉城の跡につくられた公園です。桜の名所として知られ、300本余りの桜が満開になる春には、多くの花見客で賑わいます。3.7haの園内にはミニ動物園、遊戯広場などがあり、町民の憩いの場として親しまれています。



大泉中央公園 MAP C-2

町役場の南側にある1.2haの公園で、池、滝、野外ステージなどがあり、町役場を訪れる町民の憩いの場となっています。



いずみ総合公園 MAP C-2

町の南部を流れる利根川に面した、緑と花にあふれた自然豊かな公園です。公園内には町民体育館、町民野球場、いずみサッカー場の3つの運動施設と、芝生広場や木製の遊具がある遊戯広場などがあります。



利根川

MAP D-1.2, E-2.3

朝に夕に美しい風景を見せてくれる利根川。毎年春には、「大泉町サケと遊ぶ会」によりサケの稚魚が放流されます。



文化施設で知る。



文化むら MAP C-3

広い敷地の中に大ホール棟、展示ホール棟、資料館があり、コンサートやさまざまな文化イベントが開催されています。



大ホール棟

約800席の大ホールと288席の小ホールがあります。大ホールの響きの良さは定評があり、高い天井と広い空間はヨーロッパの教会に似ているような豊かな残響を作り出します。建物の壁面にはステンドグラスが埋め込まれ、ガラスを通して光が2階ロビーの壁面に淡く映ります。世界的に定評のあるベーゼンドルファーのピアノが置かれ、クラシックなどのコンサートに利用されています。



資料館

明治時代の代表的な養蚕農家が移築復元されています。昔の生活に欠かされた民具・農具等を展示する民俗資料展示棟、本格的な茶会に利用できる茶室棟もあります。なお、資料館母屋（旧対比地邸）は、ぐんま絹遺産に登録されています。



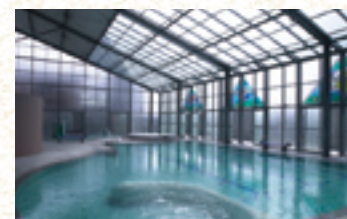
展示ホール棟

展示会や作品展などの発表の場として利用されている展示ホールと、町内の史跡から出土した旧石器時代から中世までの遺物を時代順に展示する展示室などがあります。



いずみの杜 MAP C-4

水と緑が映え、四季折々の花が開く御正作公園に隣接した勤労複合施設。管理棟、多目的棟、リフレッシュ棟、沐浴棟があり、それぞれが回廊でつながっています。地上45mのタワー棟の展望台からは町が一望できます。



町立図書館 MAP B-3

モダンな外観と近代的な設備を持つ図書館には、現在約12万点の資料があります。1階にはラウンジや雑誌コーナー、2階には一般書コーナー、児童書コーナー、国際ライブラリー、視聴覚コーナーがあり、ゆっくりと読書できます。



史跡・文化財を訪ねる。

古海原前1号古墳 MAP E-3

大泉町には150基の古墳群があります。5世紀末のものとして推定される古海原前1号古墳は墳丘主軸長約30m、周溝幅約5mの帆立貝形古墳です。墳丘には埴輪が置かれ、供献土器が出土しています。出土した遺物は、大泉文化むらに展示され、古墳跡は復元されて史跡公園になっています。



どうろくしきもんたいしんじゅうきょう 同向式画文帯神獣鏡

古海原前1号古墳から出土した鏡で、鈕の周りに神像をおき、それらの間に獣形を配し、いずれも同一方向を向いています。畿内大王政権との密接なつながりが伺えます。



高德寺 MAP D-3

南北朝時代に児島高德が開山したと伝わる真言宗の寺。いく度かの火災で什器や文書は焼失しましたが、高德の位牌や用いた硯などが伝わっています。山門横のシダレザクラが有名。境内には高德の石碑や芭蕉句碑もあります。

小泉神社 MAP B-3

元慶7年(883)の創建と伝わりますが、現在の本殿は7年の歳月をかけて嘉永7年(1848)に建立されました。柱には昇り龍と降り龍が対をなして刻まれ、壁には源義朝の妻とその3人の子をモチーフにした彫刻などがあります。町指定重要文化財。



成就院 MAP B-3

元慶年間(877-884)に、佐貫荘の荘官だった赤岩城主佐貫正良綱の次男築地次郎良基により建立されたと伝わる町内最古の寺。小泉という地名は、この地にこんこんと湧く泉から名付けたといわれています。



阿弥陀三尊板碑 MAP C-1

板碑は石造塔婆の一種で、五輪塔の形を簡単にした塔婆として鎌倉時代から室町時代に広く民衆に受け入れられました。碑には、阿弥陀如来と観音・勢至の両菩薩が梵字で刻まれています。(宝寿院所蔵、公開については要問合せ)



宝寿院 MAP C-1

文禄年間(1592-1595)の開創と伝わる曹洞宗の寺。県内には町内最古の石造物である石造地藏菩薩(町指定重要文化財)や、推定樹齢約450年の糸ひばの大木があります。

祭・イベントを楽しむ。



大泉まつり MAP B-3

毎年7月第4土曜日、日曜日の2日間で繰り広げられる町の一大イベント。太鼓や笛が賑やかなお囃子を奏でる山車の巡行や勇壮な神輿、揃いの浴衣の民謡流しや街頭パレードなどが祭りを盛り上げます。

社日祭 MAP B-3

土の神様と言われる社日稲荷神社。毎年春と秋に行われる社日祭では、江戸時代から続く「探湯神事」が行われます。2つの大釜に湯を沸かし、その熱湯に小笹をつけて全身に浴び神託を仰ぐというもので、全国でも数少ない貴重な神事です。町指定重要無形文化財。



仙石ささら舞い MAP D-2

江戸時代から続く伝統行事。牡獅子、牝獅子、法眼獅子の3頭が、竹を細かく割った「ささら」の音に合わせて舞います。もともと豊作を感謝するという農事に関係した行事でしたが、悪霊退散を祈願するものとなっています。町指定重要無形文化財。



吉田西里神楽 MAP D-2

吉田地区の白山神社に伝わる里神楽。明治30年頃から始められたと伝わり、現在も地元の納涼祭などで、ユニークなおかめ・ひよっこ踊りが演じられます。町指定重要無形文化財。



初山 MAP C-3

子どもの無事成長を願う江戸時代から受け継がれている伝統行事。毎年6月1日、富士二丁目の浅間神社で富士山の山開きに併せて行われます。生後1年未満の赤ちゃん、富士山に見立てた小山に登って額に朱の印を押してもらいます。

間之原地蔵尊子供相撲大会 MAP A-3

地元の地蔵尊への奉納相撲で、地区の無病息災・家内安全・五穀豊穰(ほうじょう)を祈り、230年前から行われています。昭和40年頃までは大人の相撲でしたが、子どもたちに引き継がれて現在に至っています。



東毛地区中学校競技大会 MAP C-3

昭和21年から始まった歴史あるスポーツ大会です。当初は球技大会として開催され、年を追う毎に競技が増え、参加市町村も埼玉や栃木までの広範囲になりました。現在は、東毛地区2市5町の中学校が参加する中体連夏の大会の前哨戦の場として、注目されています。

